

第21回

岩美町・沖縄県国頭村児童交流 ～沖縄での体験活動～

10/26～10/29

岩美町と国頭村は、昭和60年の「鳥取わたり国体」、昭和62年の「沖縄海邦国体」で双方が重量挙げの競技会場となったことをきっかけとして児童交流を始めました。

この交流では、互いに沖縄と鳥取を訪問し、児童間の交流を深めるとともに、異なる気候風土や食文化・くらし・伝統を学び、知見を広めることにより、次の時代を担う子どもたちの育成を図っています。

今回で21回目となる児童交流は、町内3小学校6年生児童16名・引率6名の22名の団員が訪問しました。

各小学校児童(代表)の感想

「沖縄で学んだ事」

岩美西小学校6年 堂園 菜月



とても楽しみにしていた4日間の沖縄交流会。私が一番に残ったのはやはり、平和学習です。山城先生、宮城先生、平良先生から当時の話を聞くことができました。ひめゆりの塔では深く悲惨な戦争のつめ跡に心がしめつけられました。何度も「目をそらさないで」と宮城先生は言われました。手りゅう弾は敵を倒すためではなく、自分の命を断つために使われていたという話を聞いて、想像できない恐ろしさで心に誓いました。

私は、この4日間で気候や食事の違い、沖縄の台風風の強さ、今まで知らなかった岩美町との違いをたくさん知りました。この体験をたくさんの人に知らせたいです。そして2月には沖縄の友達に岩美のよさをたくさん伝えたいです。

「沖縄交流の思い出」

岩美北小学校6年 竹内 登子

沖縄での4日間、私の心に強く残っている思い出を三つ紹介します。

一つ目は食文化です。ソーキそばは、私がいつも食べているそばとは、色も太さも味も全く違うものでした。

二つ目は、きれいな海です。飛行機から見た海は、エメラルドグリーンで、浦富海岸に負けないくらいきれいでした。十月なのに、泳いでいる人がいたのにはびっくりしました。

三つ目はホームステイです。

最初は少ししかしやべれなかったけど、私と同じでバスケットをしていると聞いて、話がはずみました。

今回、いろんなことを学ぶことができ、本当によかったと思っています。次は、2月に沖縄交流団の方々がやってきます。岩美町、鳥取県のいろいろなことを教えてあげたいです。



中央が竹内さん

<沖縄訪問スケジュール>

10/26(火) 那覇市内での体験

- ★沖縄到着……待ちに待った沖縄に到着!
- ★首里城見学……沖縄の歴史と伝統をしっかりと学びました。
- ★牧志(まきし)公設市場見学……見たことのないような珍しい食材がいっぱいありました。

10/27(水) 平和学習・国頭村の児童との対面

- ★平和学習……ひめゆりの塔、因伯の塔、平和祈念公園などを国頭村教育相談員 山城先生の戦争体験の話を交えて見学。戦争の悲惨さに触れ、平和への思いと命の大切さを胸に刻みました。
- ★美ら海(ちゅらうみ)水族館……巨大なジンベイザメやマンタなど珍しい魚がいっぱい!
- ★対面式～ホームステイ……国頭の友達と初めての対面。夕食会ですっかり打ち解けた後は、それぞれの家庭で沖縄の生活を体験しました。

10/28(木) 国頭村での体験

- ★奥間小学校での交流会……一緒に傘踊り・エイサーを踊ったり、給食を食べたりして交流を深めました。
- ★平良啓子さんの講話……「対馬丸」での戦争体験を話していただき、当時の壮絶な危機を乗り越え生き抜こうとする生命や精神力に感動しました。

10/29(金) 沖縄最終日

- ★岩美への帰路……楽しかった沖縄での交流も終わり、たくさんの体験や出会い、思い出を胸に沖縄を後にしました。

「命の大切さを学んだ平和学習」

岩美南小学校6年 中原 僚子



右が中原さん

わたしは、この沖縄交流を通してたくさんを知り、学ぶことができました。その中でもわたしが一番に残っているのは、山城先生のおっしゃった、「戦争はもう一度と起こしてはいけない。」「そこから目をそむけてはいけない。」「戦争はものだけじゃなく、人の心までも壊してしまう。」という言葉です。

先生は、「ひめゆりの塔」や「平和祈念公園」などへ行くバスの中で、写真や新聞記事などを見せてくださりながら、戦争の恐ろしさや平和の大切さを熱心に話してくださいました。わたしは、戦争について学習はしてきましたが、その本当の怖さはわかりません。でも、山城先生のお話を聞きながら、わたしも平和について真剣に考えないといけないと強く思いました。そして、まずわたしにできることは、いけないことはいけないとちゃんと注意することだ。」と考えました。

この経験をこれからの学校生活で、生かしていきたいと思っています。